

WE ARE

ここにしかない情報を

vol.1

WE ARE 創刊号

「インサイドセールス」

外から中へ、機械工具商を変える

過去最大規模で開催

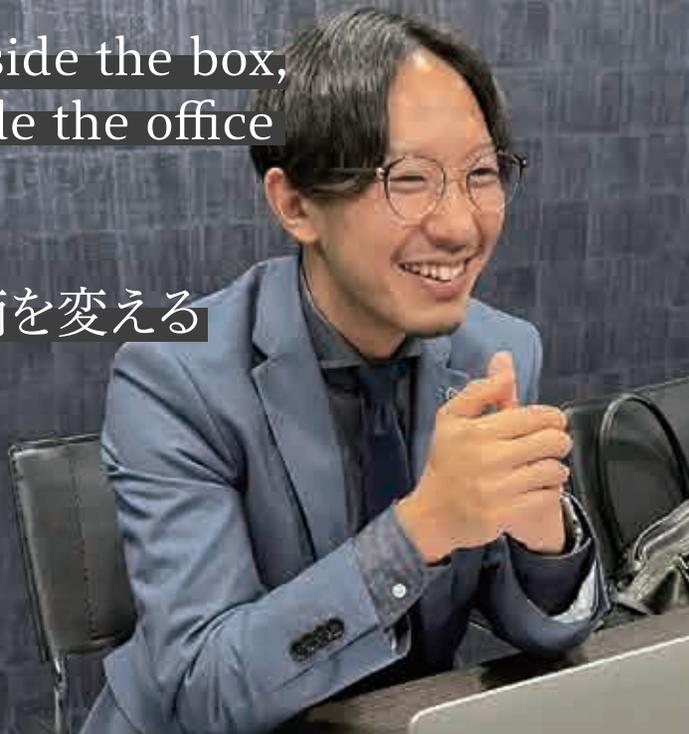
JIMOTOF2022 初出展

COBA INDUSTRIAL WORKS

「鉄と木」無縁の関係から始まるストーリー

Think outside the box,
Work inside the office

外から中へ
機械工具商を変える



旭商工 2015年 新卒入社

有馬 寛哉

業務部 責任者

kaatsuya Arima

社内組織の変更により“インサイドセールス”という新たな部署を設け、旭商工 60 期をスタート。今後の新部署の影響力や如何に。

Q.なぜインサイドセールスという部署を作ろうと思ったか

A.お客様が求める営業をする為、というのが一番の理由です

価格・デリバリー・利便性・レスポンス・知識・訪問頻度など、我々商社に対してお客様が求められる要素は様々です。

例えば訪問頻度を求めるお客様と、レスポンスを求めるお客様を同時に担当した場合、この二つを両立する事は至難の業。ですが、お客様からするとそんなことは関係のない話なのです。「一日二十件以上回れ」一年目の時に言われた言葉です。日中訪問件数を稼ぐことに必死でお客様へのレスポンスは二の次。このジレンマを私はずっと感じてきました。訪問頻度よりも、レスポンスが早い事、良い事や



▲プレゼン風景



▲お客様と商談中

困った時に連絡が確実に繋がる事ってお客様にとって一番大事なんじゃないか。そう考えた矢先のコロナ禍。対面商売が対面できなくなり、営業の在り方を考え直した時、インサイドセールスという考えに至りました。

Q.この業界におけるインサイドセールスで大切なこととは

A.『返し』です。

例えば、見積の御依頼に対する回答が「納期約一カ月」だった場合、回答時に電話をして、納期が一ヶ月掛かったとして商品が必要な期日はいつか、間に合わせる事ができそうか、相当品はあるか、などと踏み込んだ『返し』が出来るかどうか。『返し』の精度を高める為、移動時間を省いた営業がインサイドセールスです。レスポンス特化の営業が出来る事ですね。

Q.今後のインサイドセールスとしての展望とは

A.インサイドセールスが必要なお客様・部署員をもっと増やしていきたい。

今後も絶対に必要な動きですし、よりその色は濃くなると考えています。私たち商社の商品は「ヒット」です。お客様が求めることに対して適切な「ヒット」を提供する仕事です。今までアウトサイドセールスという商品しかなかったが、インサイドセールスという商品のラインナップを追加しました。その分必ずマーケットは拡がるので、もっと伸ばしていく事が私のミッションです。

◆有馬寛哉（ありま・かつや）
一九九二年二月十七日、兵庫県たつの市出身
二〇一五年に旭商工へ入社、約六年間営業を経験し現在は業務部の責任者として日々業務に励んでいる。



ARIMA STYLE
Work and Private

From **A** Tatsuno

★★★★★★★★

Every day is fun.
My favorite items.



1. お気に入りのシャツ / 2. 仕事用ネクタイコレクション / 3. ゴルフボール / 4. お仕事ローファー / 5. 愛用財布 / 6. スターバックスリザーブのタンブラー / 7. 仕事用PC / 8. 愛読書『THE MODEL』 / 9. お気に入りのバッグ「tatsuno city」の文字入り / 10. 仕事の必需品: 電卓 / 11. オシャレなケースのiPhone / 12. Creepy Nutsのアンサンブル・プレイ / 13. 気分に合わせて選ぶ、メガネコレクション / 14. 手荒れに負けない! savon shiro ハンドクリーム★

板金だけで作り出す錯覚の世界

錯視文字とは? ... 立体的かつ、固定された文字が動いて見えること

<実際の使用例>

展示会ブースの紹介

看板や、ネームプレートに

メッセージプレート



弊社の皆様へ
新規事業をご紹介します!

錯視文字の制作依頼も受付中!

<LINE UP>

- ①文字: アルファベット 26文字
 - ②サイズ: 50mm~900mm
 - ③色: オリジナルカラー 3色
- ※企業ロゴ・カラーは要相談

サイズ例 (450mm)



弊社 YouTube
「MONOFUL」でも
錯視文字「モジてる」を
ご紹介! ぜひQRコード
からご覧ください^^

お問い合わせは、こちらまで!
株式会社ショウワ 06-6422-6481



開かれる扉

世界を動かす技術の出会い

JIMTOFが4年ぶりにリアル展示会を 過去最大規模で開催



JIMTOF2022の来場者数は合計11万4158人。2018年のJIMTOFは来場者数15万3103人であった。まだまだ本調子とは言えないものの少しずつではあるがリアル展示会への来場意欲が社会全体に戻ってきた様相である。メーカーも4年ぶりということもあり盛大にブースを装飾し、金属加工業界においてもコロナ禍で生まれた新しい環境に対応するリモート遠隔システムやオートメーション化をより一層進めていくコンセプトで生産性の向上を図ったものが多く目立った。金属加工の高速化も同時に各メーカーが競い合い、速いだけではなく量産型に特化したより長寿命な工具、難解な加工内容に対応した工具も多く展示されていた。工作機械においても機械単体でより生産性を求めたハイテクノロジーマシンも数多く見受けられたが、工場全体をスマートファクトリーにする提案も数多く見られた。



60周年を迎えたJIMTOFは東京BIGサイトを全館使用し旋盤やマシニングセンタ、複合加工機、CAD/CAM、各種切削工具を中心に最新技術や製品、サービスが今回も盛沢山に紹介された。その中で旭硝子(株)はTOTIMEとしてJIMTOFに初出展しました。



会期終了済み
2022年11月8日～11月13日まで

JIMTOF 2022

第31回 日本国際工作機械見本市

入場証をご用意ください Show your Admission Pass at the gate

입장증をお持ちください Show your Admission Pass at the gate

入場証をご用意ください Show your Admission Pass at the gate

입장증をお持ちください Show your Admission Pass at the gate



搬入の日当日まで

メーカーさんが毎回 JIMTOF で搬入に苦労していることが良く分かった。本当に大変な労力..でも今はワクワクが止まらない!

富士山が見えた!!



朝一番で旭商工から荷物を満載した車で東京ビックサイトへ!

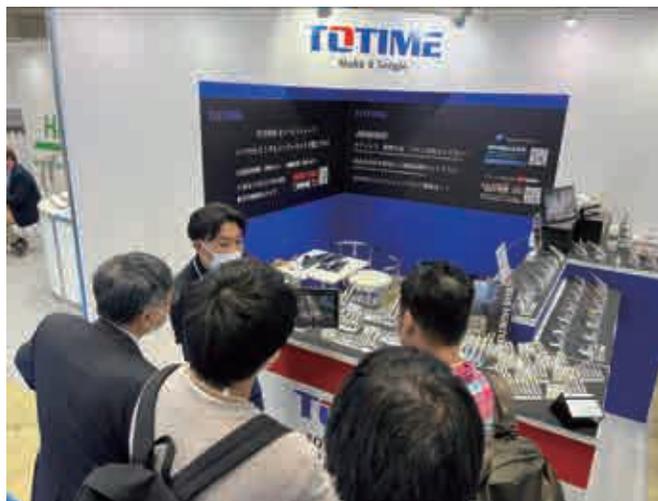
アメ横のお台で...

アフター JIMTOF にアメ横に行きました。TOTIME 事業に従事する女子社員が「JIMTOF 行きます!」って自ら言ってくれたのは嬉しかった。それだけでビール5杯は飲めましたww



陳列を終えてようやくホッと。これから JIMTOF が始まるんだと実感したのもこの時です。

リモート展示会やバーチャル展示会など様々趣向を凝らしコロナ禍で展示会も行われてきたことは賞賛できる事ではあるが、リアル展示会でしか味わえないリアルな人の息遣いや熱気、笑顔や情熱、今回の JIMTOF では改めてリアルな素晴らしさを身に染みて味わえた会だと心の底から思えた。



JIMTOF 会場の西の一番端っこにブースを構え、たった1コマでしたが本当に沢山のご来店を頂き本当に有難うございました。全国からお越し頂いた方に製品仕様のご質問、使用後の嬉しい感想やこれからご使用頂けるお約束、全てが私達には新鮮で輝かしい JIMTOF でした。これからも TOTIME として製品性能にこだわりお求めやすい価格も同時に追求することをお約束いたします。

沢山のご来場ありがとうございました!



一つ一つに愛情があって
一つが美しい



タローさんという親しみのあるニックネームのこの人は株式会社鉄屋の木工事業部責任者の平元太朗さん。
鉄屋が木工家具を販売するために経営しているのが上記の写真で見ることが出来るCOBAというお店である。タローさんが作り出す木工家具は何故か心を穏やかに温もりを感じさせてくれる。元々、鉄屋は名前の通り鉄工所であり木とは無縁の関係である。なぜ、鉄屋のタローさんは木工家具に携わることになったのかを聞いてみた。



金属加工の経験を木工家具へ

使い古された足場板が シンデレラのように生命を宿す

【家具製作（COBA）を始めた理由】
たまたま、建築用の足場板を安く手に入れることが出来たので、自分で鉄を加工してテーブル用の脚を作り、ダイニングテーブルを作りました。その評判がよくてこれなら家具を製作して売れるんじゃないか？という話になりました。できるだけコストを抑え、若い人たちでも買いやすくするために設計段階でとにかく無駄を省いたり、部品を共通化したりして工夫しています。



【商品へのこだわり】
こんなのがあったらなあという意見を商品化しています。また、長年培ってきた金属加工の技術を生かした商品の開発を進めています。"CUBE RACK"は鉄屋のみんなが培ってきた技術の結晶ともいえる唯一無二の商品だと思っています。



CUBE RACKと木の天板で作られた家具。
購入者がCUBE RACKを使って自由な形にすることができる

ずっと踏み続けられてきた足場板がCOBAの愛情と洗練された技によって今度は食事を並べられたり、カフェを楽しむテーブルになったり。
足場板が華やかに息を吹き返す様は私たちの人生をも振り返らせてくれる。私たちもまだまだ捨てたもんじやないって。そうして元気をもらえる家具、それがCOBAの家具なのです。



COBA industrialworks OUTLET 大阪店

A: 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ 3-9-3

Tel: 0725-51-181

070-9021-8920 (iPhone)

営業日: 月~木・土・日

定休日: 金

※営業日・営業時間については御手数ですが大阪店へお問い合わせください

COBA INDUSTRIAL WORKS 福岡店

A: 〒819-0169 福岡県福岡市西区今宿西1丁目 33-26

Tel: 092-707-7155

070-8540-2133 (iPhone)

※ショートメッセージも受信可能です

Fax: 092-707-7160

E: coba.inc@tetsuya-coba.com

営業日: 不定休

※営業日・営業時間については御手数ですが福岡店へお問い合わせください

TAKE FREE
WE ARE vol.1

WE ARE

2023

<https://www.asitt.co.jp/company.html>

2023/1

★発行：旭商工株式会社

大阪本社 〒566-0033

大阪府摂津市学園町 1-1-26

TEL : 072-652-5371

